

# 記載要領

【報告書式1】

令和 7年 4月 1日

住 所 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地  
名 称 パシフィックコンサルタンツ協議会  
代表者氏名 パシコン太郎

## 令和6年度 事業報告書 (モーダルシフト加速化緊急対策事業)

### 1. 協議会の名称及び代表者

名称	パシフィックコンサルタンツ協議会
代表者の氏名と その所属先	パシコン太郎 パシフィックコンサルタンツ株式会社

### 2. 協議会の構成

<input type="checkbox"/> で囲む	構成員 (担当者)
<input checked="" type="checkbox"/> 輸送委託者 輸送事業者 その他	社 名 パシフィックコンサルタンツ株式会社 住 所 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地 担当部署 ○○部○○課 担当者名 <u>パシコン二郎</u> 連絡先 TEL ( 03-1234-5678 ) E-Mail ( ~~~@~.co.jp )
輸送委託者 <input checked="" type="checkbox"/> 輸送事業者 その他	社 名 株式会社○○ 住 所 東京都千代田区神田司町○丁目○番地 担当部署 ○○部○○課 担当者名 連絡先 TEL ( 03-××××-×××× ) E-Mail ( ~~~@~.co.jp )
輸送委託者 輸送事業者 その他	社 名 住 所 担当部署 担当者名 連絡先 TEL ( ) E-Mail ( )

※お問い合わせの窓口となる方の担当者の氏名に下線を付けること。

※欄が足りない場合は、別葉にて作成すること。

### 3. 事業結果の概要

#### 1) 実施結果

○事業実施後、事業開始前と比較しどのような効果が得られたのか（貨物量や省力化効果の詳細）、事業実施に当たって工夫した点を記載してください。

#### 2) 課題・改善点等

○事業実施前後で発生した課題・改善点について、今後事業を実施していく上での対応策を具体的に記載してください。

#### 3) 今後の取組みについて

○上記1)、2)を振り返った上で今後事業を実施する上での検討内容や計画について具体的に記載してください。

#### 4) その他特記事項

○モーダルシフトに当たって、パレットの活用や物流データの活用などに取り組んだ場合は、その内容について記載してください。

※経路が1つのみの場合には総括表の記載は不要です。  
9の表のみ記載で問題ありません。

4. 実施内容《総括表》

類型	1. トラック輸送から鉄道又は海上輸送への転換 2. 新規に鉄道又は海上輸送する貨物	
輸送期間	(輸送実施期間) 令和 年 月 ~ 令和 年 月	
輸送経路	転換前 (仮想)	
	転換後	
輸送品目		
輸送実績	※複数経路で実施した場合には、総括表にそれぞれの経路の合計の貨物量、省力化効果の合算を計算過程含め記載の上、次ページ以降経路ごとの貨物量、省力化効果の詳細を記載してください。	

5. 実施内容 ※経路が複数ある ※経路が複数ある場合は、A、B…、1、2…など経路毎に表を作成して下さい。

輸送経路 ( A→B )

類型	1. トラック輸送から鉄道又は海上輸送への転換 2. 新規に鉄道又は海上輸送する貨物	
輸送期間	(輸送実施期間) 令和 6年 12月~	
輸送経路	転換前 (仮想)	A 社工場(●市●町)→○IC→(○○道)→▲IC→B 社倉庫(△市△町) A→○IC【20km】、○IC→▲IC【450km】、▲IC→B【30km】  新規貨物の場合は仮想の陸上輸送ルートに記載して下さい。
	転換後	A社工場(●市●町)→○貨物駅→▲貨物駅→B社倉庫(△市△町) A→○貨物駅【40km】、○駅→▲駅【550km】、▲駅  ※輸送経路については、距離の算出根拠が確認できるような1運行あたりの地点・経路を記入し、その根拠となる資料を添付して下さい。(ソフトウェアやウェブサイト等を利用したルート検索結果を添付しても構いません。)
輸送品目	食品、雑貨等	
輸送実績	<p>※当該年度における輸送実績を記載してください</p> <p>■貨物量：3,400t (実重量)</p> <p>■転換距離 (トラック輸送の削減距離)</p> <p>＜転換前＞ 500km/運行×運行回数84回=42,000km</p> <p>＜転換後＞ 80km/運行×運行回数32回=2,400km</p> <p>＜削減距離＞ 39,600km</p> <p>■省力化効果 (トラックドライバー総走行時間)</p> <p>＜転換前＞ 平均運転時間10時間/運行×運行回数84回=840時間</p> <p>＜転換後＞ 平均運転時間2時間/運行×運行回数32回=64時間</p> <p>＜削減量＞ 省力化された時間：776時間 省力化率：92.0%</p> <p>貨物量について、実重量が把握可能な場合は実重量を、把握困難な場合はコンテナの最大積載量等に基づき報告して下さい。なお、実重量でない場合は算出根拠も記載して下さい。また、取組実施期間における転換距離及び省力化効果等を記載して下さい。</p>	

6. 補助対象設備・機器の利用実績および得られた効果

※機器導入後、実際に利用した期間を記載してください。

利用期間	(利用期間) 令和 6年 12月 ~ 令和 7年 3月
事業実施前	<p>B社倉庫(△市△町)からC社工場(×市×町)への食品、雑貨等の輸送は、…</p> <p>○モーダルシフトの推進に資する機器の導入をする前までの流通業務の内容を記載して下さい。</p>
事業実施後	<p>B社倉庫(△市△町)からC社工場(×市×町)への食品、雑貨等を…</p> <p>○モーダルシフトの推進に資する機器の導入をしたことにより、流通業務がどのようになったか記載をして下さい。</p>
機器導入区 間・箇所	<p>○モーダルシフトの推進に資する機器をどこに導入したか記載して下さい。</p>
機器の利用 実績・得ら れた効果	<p>○どのような機器を、どこに、何台、何のために導入し、どのように利用したかを記載して下さい。</p> <p>○モーダルシフトの推進に資する機器の導入をしたことにより、省力化がどれだけ図れたか(何人分の省人化になったか)を記載して下さい。</p>

## 7. 年度別事業実績

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
転換距離 (km)	39,600	117,000	117,000	117,000
転換貨物量 (t)	3,400	10,000	10,000	10,000
省力化効果及び その算出根拠 (時間)	776時間 ※9. 実施内容の輸 送内容に記載	○令和6年度は計画時の数値ではなく、 <u>実績値</u> を 記載してください。		
省力化効果及び その算出根拠 (%)	92.0% ※9. 実施内容の輸 送内容に記載	92.0%	92.0%	92.0%

※転換貨物量について、実重量での把握が困難な場合はコンテナの最大積載量等に基づき算出した貨物量での報告でも問題ない。

※省力化効果 (時間) にはトラックドライバー総走行時間の年間削減時間を、省力化効果 (%) には年間削減率を記載すること。

※令和7年度以降は計画値を記載すること。